（参考様式1）議事録

令和7年度　第1回　学校運営協議会（全日制部会）議事録

校名	大阪府立佐野工科高等学校
校長名	橋本　敏和

開催日時	令和7年　6月27日（金 ）15:30～17:00
開催場所	定時制専用棟1階教室
出席者(委員)	山田啓次会長、野本力上副会長、町谷雄二委員、山本真委員 （上野公義委員と杉本英雄委員は業務のため欠席）
出席者(学校)	橋本校長、妻木教頭、佐々木事務長、飯田首席、金丸首席、片岡首席、瀧本、中嶋、山際、赤穂、豊嶋、五十棲、坂本、堀川
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度学校経営計画、令和7年度各分掌目標、令和7年度普通科・各系組織目標、令和8年度使用教科書選定理由一覧表、令和8年度使用教科書（選定・採択）一覧表等
備考	

議題等(次第順)

・令和7年度学校経営計画
・令和7年度　各分掌・系よりの目標設定
・令和7年度使用教科書選定理由一覧表、令和7年度使用教科書（選定・採択）一覧表
・創立100周年記念事業

協議内容・承認事項等（意見の概要）

〇令和7年度学校経営計画について
　・昨年度松野前校長の策定されたものからは大きく変えていないが、今年度は特に「3　生徒一人ひとりを大切にした教育の推進」に力を入れる。支援を要する生徒や不登校の生徒に対する取組みを強化する。
　・また、今年度より定期考査を廃し、9月に「チャレンジ月間」を設定、「深く学ぶ」チャンスを作っている。また、さらに自ら学び続ける態度について、「ラーケーション」を設定した。
〇各系・各分掌からのコメント
・教務部　：　令和10年度入学者選抜より大きく内容が変更される。「学校特色枠」が設定され、一定数の受験生を学校が設定する枠に沿って合格者を決定していく。本校においては、「ものづくりに興味・関心があり、真面目に学習し、自主的に活動のできる生徒」というアドミッションポリシーに沿う形で、中学校におけるモノづくりに関連する教科科目の学習状況や学びへの意欲を中心に、一定程度の合格者を決定していきたい。詳細については、校内で調整ののち、第2回の協議会では皆様にお示ししたい。
・生徒指導部：「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で、未然防止と事象に体操していく。
・地域連携（佐野工科地域コンソーシアム）：地域のモノづくりにかかわる取り組みに積極的に対応する。
・創立100周年記念事業については、記念品として食堂のクーラー設置、モニュメント設置について進捗中、記念式典については、11月15日（土）エブノ泉の森ホールで実施予定。
〇各委員からの質問・意見
・「いじめ」にかかわって、自分の子どもから聞いたのだが、見たくないような状況があった。教職員の研修を増やすべきではないか（保護者代表）　→　現在「いじめ対策特別委員会」を積極的に開き、担任任せではない、組織的な対応を進めている。今後、委員のおっしゃるような研修も含めて「いじめを許さない」学校づくりをしていく。（教頭）
・授業アンケートについて、全員にとっているのか？（卒業生）→全員を対象に年2回実施している（首席）。
・卒業生として、工科高校は、やはり実践向きの授業をできるだけ多くした方がよい。社会に出たとき、即戦力として卒業生が働ける（卒業生意見）
・もっと現場に近い機械やツールを導入し、トレーニングした方がよいのでは？専用の機械を入れれば即戦力となる、卒業後の次の一手が欲しい（地域住民）→　工業高校から工科高校となり、実習の時間が少なくなっている。また、企業訪問等を行ったとき、企業が採用したい人材は、工業に関する感性や意欲の高いものを採用したいとおっしゃっているので、そのような卒業生が出るように意識して各系とも育成を図っている（校長）。
・学校経営計画の評価を見ると、◎が非常に多い。今後さらに目標達成が大変なことになるが頑張ってほしい（学識経験者）。

協議の結果
●令和6年度学校経営計画及び評価については、全体として反対意見なく、全会一致で了承。
●令和7年度の学校経営計画についても、反対意見なく、全会一致で了承。
●教科書選定に対する質問は特になく、全会一致で承認された。
●「DX加速化推進事業」の進捗状況については、第2回協議会で報告する。

次回の会議日程

日時	令和7年11月28日（金）15:30～を予定
会場	佐工会館1F